

# 中国労働衛生協会 健康経営優良法人の 「ホワイト500」に



(左から)推進チームの原田美保さん、井上知代さん、宮田理事長、佐名木美智子さん

公益財団法人中国労働衛生協会（福山市引野町五―一四―一、宮田明理事長）は3月4日、経済産業省と日本健康会議が共同で選定した「健康経営優良法人2021」の大規模法人部門で、上位五〇〇法人に当たる「ホワイト五〇〇」に認定された。

健康経営優良法人認定制度は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みに基づき、優れた健康経営を実践している大企業・中小企業を顕彰する制度。

今回は一八〇一の大規模法人と七九三四法人の中小規模法人が認定された。広島県内でホワイト五〇〇に認定されたのは同協会のほか、(株)アンフィニ広島（広島市）、(株)広島銀行（同）、(株)ホンダ四輪販売西中国（同）の四法人で、福山市では同協会のみ。

同協会は2018年に認定制度に初挑戦したが、残念ながら認定されなかった。19年はホワイト五〇〇、20年は五〇〇位には入らなかったが大規模法人で認定され、今回再びホワイト五〇〇に返り咲いた。

「ホワイト五〇〇認定に向けた推進チームを結成し、職員一丸となって努力した。認定には八〇以上の質問への回答が必要だが、数値化しにくい内容もたくさんあった。推進チームのさまざまな工夫で乗り切ることができた」と宮田理事長。

評価項目の中では、特に「経営理念・方針」「組織体制」の点数が高かったという。

特に組織体制の「担当者人数」では回答企業全体のトップを獲得。医師・看護師・保健師・管理栄養士・ヘルスケアトレーナー・健康経営アドバイザーらがそろい、連携する活動内容などが高く評価された。

健康経営は従業員の健康管理を経営的視点から考えて戦略的に実践し、企業価値向上につなげる経営手法。宮田理事長は「生き生きと働ける環

境をつくると、組織の生産力・ブランド力・活力が向上する」と説明する。

同協会では健康経営推進のサポートも行っている。宮田理事長は「小さな積み重ねが、大きな成果につながる。当協会の職員がお手伝いするので、地元企業の皆さんにも健康経営に取り組んでもらいたい」と話している。

問 084・941・8211